

実習指導担当者さまへ ー前半類型伝達事項と 振り返りでの反応からー

令和8年10月27日(火)

第7章「ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術」担当

ケアプランセンターカルナハウス 前田 岳史

第14章「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習・実習振り返り」担当

ケアプランセンター結

葛川 寛美

はじめに

何らかの思いを持って介護支援専門員の資格を取ろうと決意し、見事に合格した受講者さんに対し、現場経験の場を提供し、実践する姿を示す時間を割いていただく皆さま、感謝申し上げます。

特定事業所の担当ケアマネジャーとして、困難ケースを受け入れる役目を積極的に担われると共に、地域づくりと政策提言までを視野に入れた支援をこなしつつ、後進の介護支援専門員を育てる重責も担われている皆さまにとり、今回の受け入れは、まさに「介護支援専門員の卵を育てる一翼を担う」という、**究極のスーパーバイズ**の機会といえるのではないかと思います。

今回は前半類型での伝達内容、その後の振り返り内容をお伝えし、実習に役立てていただければと思います。

本日の内容

- 第7章「ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術」で伝えた(伝える)こと
- 第14章「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習・実習振り返り」での実習を終えた声から
- 実習担当者さまへのお願い
- 最後に

【インテーク】

- 「受付及び相談並びに契約」講義演習は1時間です。神谷花子さんという架空のおばあさんの支援に入っていくという前提で話を進めていきます。
- ケアマネジメントプロセスの入口としての重要性、その意義と目的、契約の意義と留意点を、例とイラストを使って分かりやすく伝えています。
- ロールプレイを入れ、「電話による受付場面」設定で、実際に受付票に聞き取りを行っています。

【インテーク…実習上では】

- インテークについてですが、なかなか実習中にタイミングよくその場面に当たることは少ないかと思います。

事業所において使用されている受付シートなどで、過去の実際の対応等をご説明いただければと思います。

【アセスメント】

- 「アセスメント及びニーズ把握の方法」講義演習は6時間あります。
- その前段の「ケアマネジメントプロセス」講義と合わせ、課題分析標準23項目、課題整理総括表、ICFシート、ジェノグラムとエコマップ、課題(ニーズ)の設定までを伝えます。
- ワークを10以上入れ、知識だけでなく、特にアセスメント項目・意向の聞き取りの重要性和難しさを体験してもらうように工夫しています。

【アセスメント…実習上では】

- アセスメントについては、講義演習ではICFシート、課題整理総括表をまとめた「演習シート」を使用し、仮想事例を用いて演習を進めています。実際の事例は実習が初めてになります。ぜひ事業所で使用されているアセスメントシートを見せていただき、どのレベルまでの聞き取りの記録が必要なのかを伝えていただければと思います。
- そして力を入れているのは「利用者・家族の意向」の把握についてです。担当者の「望む生活」とは何か、その把握のために工夫されていることをぜひお伝えいただければと思います。

【居宅サービス計画等の作成】

- 「居宅サービス計画等の作成」講義演習は4時間です。
- ここでは「居宅サービス計画作成書作成の手引」も使用し、主に居宅のサービス計画第1表、2表、3表を学んでいただきます。
- 講義にて記載上の注意点(厚生労働省通知の記載要領)を伝えつつ、演習で実際に記入してもらいながら理解定着を図っています。
- 介護予防サービス・支援計画についても、簡単にその構造と記入ポイントを解説しています。

【サービス計画…実習上では】

- 居宅サービス計画書(ケアプラン)については、サービス担当者会議等やモニタリング訪問の前に見せていただき、どのようなアセスメントでその計画となったのかをご説明していただいた上で、会議や訪問が、そのプランの課題の変更やモニタリングによるプランの修正の発見といった、ケアマネジメントプロセスの一環であることを意識させていただければと思います。

【サービス担当者会議】

- 「サービス担当者会議の意義及び進め方」講義演習は4時間です。
- サービス担当者会議の意義と目的、その実施方法につき、簡単な説明を行った後、模擬サービス担当者会議を指導者・受講者から役割を決めて行い、会場全体で感想を共有した後、グループ内でも再度模擬会議を行ってもらっています。
- 具体的な進め方については、「進行手順書」をもとに進めていただいておりますが、実際行うとなかなか思うようにいかず、いつも大賑わいです。

【サービス担当者会議…実習上では】

- サービス担当者会議や地域ケア個別会議等へ参加していただく場合には、準備段階からポイントや留意点等をお伝えいただき、共に会議に臨めるようご配慮をお願いいたします。
- またサービス担当者会議後の会議録についても、実際にどのような記録になるのかを見せていただければと思います。より実践的な学びになります。

【モニタリング】

- 「モニタリング及び評価」講義演習は3時間です。
- モニタリングの意義、目的、その手法、面接上の注意点の説明を行った後、グループで役割を決めてモニタリングの演習を行ってもらっています。
- 介護支援経過への記載方法、評価表の記載方法についても、手引きを参考に解説しています。
- 最後に講師二人の実際のモニタリング場面(利用者家族の了解済み)を受講者に見ていただいています。これから実習で赴く実際の雰囲気をおこのとき感じていただいているかと思います。

【モニタリング…実習上では】

- **モニタリング**訪問では、短期目標の達成状況の確認という主目的があるかと思います。ぜひ貴事業所での達成状況の確認方法の工夫点をお伝えください。その際お使いの**モニタリング表**などもご持参いただき、一緒に確認記載するなどしていただくと、実践の仕方が分かるかと思います。

【適切なケアマネジメント手法の扱いについて】

- 令和6年より、研修に適切なケアマネジメント手法が取り入れられています。こちらについては、受け入れ事業所の皆さまは基本的なことは研修等で学ばれておられるかと思います。
- 実習生の皆さまは、この新たな手法を取り入れたケアマネジメントを学ぶわけですが、前半類型ではほとんど扱いませんので(実際は実習後の後期から学ばれます)、それほど深く知識を得て実習に来られるわけではありません。

【適切なケアマネジメント手法の扱いについて】

- またこの実習の目的は、まずは基本的なケアマネジメントプロセスを知っていただく過程としてのモニタリング訪問、会議の雰囲気を知ってもらうことが主目的となります。
- ただ実習生さんによっては、『適切なケアマネジメント手法をどうプランに取り込まれているのですか？』等、質問があがってくる可能性はあります。
- その時に少なくともケア項目一覧等の見方は伝えていただけるようお願いいたします。そして「我々も手法活用の面では一年生、共に学んでいきましょう」とエールを送っていただければと思います。

第13章 ケアマネジメントの 基礎技術に関する実習

八訂テキスト
下巻P26

【修得目標】

- ①ケアマネジメントプロセスの実践にあたっての留意点を踏まえ、観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ②ケアマネジメントプロセスについて、指導者のもと、実習先で体験した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ③実際の生活環境を観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる
- ④実習協力者の状況に合わせて実習を実施できる
- ⑤給付管理業務の流れを述べることができる

第13章 ケアマネジメントの 基礎技術に関する実習

七訂テキスト
下巻P1

【内容】

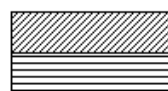
- ・実習にあたっては、利用者への居宅訪問を行いアセスメントの実施、居宅サービス計画書の作成、サービス担当者会議の準備・同席、モニタリングの実施、給付管理業務の方法など一連のケアの実習を行う。

実 習 計 画 書

実習期間：令和

(平日コース)

事業所名		ケアプランセンターカルナハウス				実習担当者名		前田 岳史				電話番号		0748-24-3250							
		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
2／8 (火)	1日目		オリエンテーション (介護支援専門員とは/ケアマネジメント/基本作法)				昼休憩		移動	0時 サービス担当者会議 参加				移動	休憩	会議の 振り返り		一日の 振り返り 記録			
2／15 (火)	2日目		勉強会前 学習	移動 or AC事前学 習会	アローチャート勉強会 見学・参加		移動	昼休憩		移動	移動	1時 訪問	移動	休憩	勉強会・ 担当者会議の 振り返り		一日の 振り返り 記録				
2／21 (月)	3日目			勉強会前 学習	移動	1時 訪問	移動	昼休憩		移動	地域ケア個別会議 参加				移動	休憩	1時 訪問	移動	2時 訪問	一日の 振り返り 記録	
／	4日目																				
／	5日目																				
／	6日目																				
／	7日目																				



事前の実習目標の設定

事後の振り返り

※振り返り、最終振り返りは受講者全員で実施

【留意点】

・実習生1人につき実習計画書1枚提出してください

・おおそ3日程度(21時間程度)必ずしも連続でなくてもよい

・訪問、会議、事例検討会などの前後には目的の確認、振り返りの確認時間を持つ

・最低でも訪問2回以上、異なる会議2回以上は出席

実際に実習を終えたの実習生の声

- テキストや講義演習で学んだことが、実際の場面を見ることで理解が深まった。
- サービス担当者会議に参加させてもらい、連携の重要性が理解できた。
- 指導者のケアプランを見て、インフォーマルをしっかりと活用しているのが印象的だった。

などなど、大半が「実習よかった！」という振り返りでした。

実習指導上の様々な工夫は、ダイレクトに実習生に影響しています

- 業務内容全般を漏れなく見てもらえる工夫をした。
- 個別地域ケア個別会議の開催日を1～2月で依頼しておき、参加できるよう工夫した。
- サービス担当者会議のシナリオを作り、事業所内でロールプレイして準備した。
- 実習者の経歴(相談員やサ責経験者等)に合わせた訪問宅の選定、実習内容を考えている。

しかし、ごく小数、こんな声も…

- (体調不良等やむを得ない事情はあったにせよ) サービス担当者会議や退院カンファレンスなど、参加できなかった。
- 模擬ケアプラン、修正されるだけで、どうしたらいいのかの説明がなかった。自信がなくなりあきらめた。
- 講義演習で学んだ、ICFシートや課題整理総括表について、「実際には使わないし、使っていないから知らない」と言われた。
- ケアマネジメント全般が見られると思っていたのに、給付管理について学べなかった。

【模擬ケアプラン作成実習指導上の留意点】

ケアプランを赤で直さなければならない場面もあるかと思いますが、受講生がなぜそう思ったのかを、確認していただくようにお願いします。

研修の目的は、素晴らしいプランを作成することではなく、アセスメント～プランニングの思考過程を理解し、経験できることです。実習生本人の気づきを促す、コーチング的、指導・助言でお願いします。

コーチング

なぜ〇〇と
思ったの？

- ・問題解決能力
- ・自主性
- ・モチベーション

主任CM
(指導者)
※質問攻めにならないよう
注意する
※傾聴の姿勢

質問・傾聴

思考・気づき



答え

・(〇〇が)〇〇だ
と言われたからです
・△△を見たから
です

実習生
※言語化すること
からの気づき

ティーチング

教える {
・知識・情報
・技術・スキル

答え

×「時間がないから…」
×「理想的なプランとは
こうあるべき」を
押し付ける

知識・技能
レベルが向上



選定する利用者について

- 選定する利用者についてですが、合計4回は実際の場に出向くことができます。
- そのため、実際には様々なご事情があることは重々承知なのですが、ケアマネジメントプロセスを網羅しつつ、できるだけ多くの状況・状態の方（例えば男女の別、年齢層、世帯、疾患による違い等）を見ることができるようなお配慮を、できるだけお願いしたいと思います。

ここだけは気をつけてほしい点

●「ケアマネなんて大変なだけだよ」

(大変なだけの理由をこそお伝えを。声に出さなくとも顔の表情、事業所の雰囲気も感じ取りますよね)

●他の事業所、介護支援専門員の陰口(当然ですね)

●模擬ケアプラン作成にて、熱血過ぎてダメ出し全開での指導(赤ペン先生は減りましたが…)

(確かにティーチングもこの段階では必要かと思いますが、があくまでコーチングを主に、実習生さんの考える時間をとっていただき、支持的な指導・助言でお願いしたいです)

●実習簿での実習担当者からのコメント欄を、一行で済ませてしまう

(実際にケアマネジャーになったとき、そのコメントをずっと大切にしている方が実際おられます)

実習生にぜひ伝えてほしい、 聞いてほしいこと

- あなたはどうしてケアマネジャーの資格を取りたいと思ったのですか？
- 私はどんなケアマネジャーになりたいと思っているのか、何を大事にしているのか、あなたにこんなケアマネジャー像を持ってほしいと思っています(ということ)

実習指導上での皆さまのお悩み

- 計画を事前に出さないといけないので暫定で作るが、その通りにいったためしがない。
- 通常業務との時間配分に苦勞した。
- 相手は高齢者様であり、急な体調不良等もありうることから柔軟な対応が求められる。
- 「ケアマネはしません」と言われている実習者への指導はモチベーションが上がりません(複数)。

それらを乗り越えて、皆さまへお願いしたいこと

「ケアマネジャーって大事だな！」

「ケアマネジャーっていいな」

とと思っていただけのように、やりがいや重要性、魅力をぜひ伝えてあげていただき、我々の未来の仲間・後進を育てる後押しをお願いしたいと思います。

※毎年、実習後「ぜひやってみたい！先輩の応援のおかげ…」と話される方がおられます。

最後に

- ひよこは、生まれて初めて見たものを親だと認識する、という話があります。
- ほとんどの実習生は、介護支援専門員の実務を目にするのは初めてだと思います。
- ぜひ、ロールモデルとなり、実習生が「ケアマネジャーの仕事がしたい、こんなケアマネジャーになりたい」という姿を見せてあげていただければと思います。



ご清聴ありがとうございました